

ソフトバレーボール大会の監督会議を経て

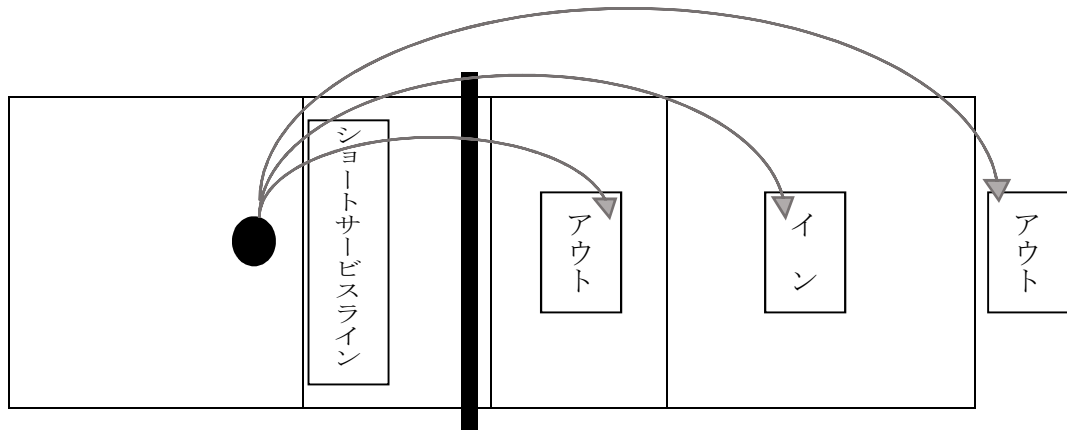
1 運営について

- 試合時間の短縮のために、セット間、試合間はあまり時間をあけずに行う。また、1試合を通してコートチェンジはしない(1試合通して同じコート)。

2 ルールの確認

(1) サーブとサーブレシーブ

- アンダーサーブ(腰より低い位置でヒットする)を練習で徹底する。試合時に、主審がサイドからのサーブ(腰より上)と判断した場合は、サーブをやり直す。連続でサイドサーブをした場合は、相手得点になる。
- サーブを打つ場所とイン・アウトについて
 - ・ サーブは、ショートサービスラインより後ろから打つ。線を踏むと相手得点になる。
 - ・ イン・アウトは、下記の図の通りで、ショートサービスラインより前に落ちるとアウト。また、ネットに触れたらアウト(ネットインサーブは認められない)。



- サーブレシーブについては、ネットの上端より下でヒットした場合は、ワン返しはOKである。主審がネット上端より上でヒットしたと判断した場合は、相手得点となる。

3 役割分担

	鹿島市民	明倫小
会場準備	全チームで	明倫・古枝
会場責任者	塩田	明倫
監督会議運営	塩田	古枝
表彰	当日決定	決勝の審判
対戦表作成	久間	久間
大会記録 (ラインで流す)	五町田	北鹿島

4 その他

- 支柱とネットは、古枝小学校とリバティからお借りしている物だから、返却するまでみんなで慎重に扱う。